

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 28

千葉県立船橋東高等学校 全日製の課程 普通科

1 期待する生徒像

学業成績・人物共に優れ、本校を志願する動機及び理由が明確であり、かつ、スポーツ活動・文化活動・生徒会活動等において優れた実績を有し、入学後もその活動を継続する強い意志がある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者4名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書

アの数値に、イ・エについて加点（上限10点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を2倍して評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間欠席0である場合は加点する。 欠席日数については、総合的に判定する際の参考とする。 中学3年間で30日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数については総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録 及び特記事項	(ア) 生徒会本部役員または部活動の部長の経験 (イ) 運動系部活動は県大会出場以上（音楽系は本選出場以上） (ウ) 英検準2級以上、漢検2級以上の資格取得 以上の3点が認められる記述がある場合は加点する。
オ 総合所見	エの他に、特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接検査 [3点満点]

2名の評価者が、次の評価項目について、評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、2名の評価者の評価の組合せ(a a ~ c c)ごとに得点化する。評価の組合せがc cの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
意欲・態度	身だしなみ・態度・言葉遣い等が適切であり、入学後の学校生活に対する目的意識が明確で、意欲的に取り組む姿勢が見られる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)×2	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m) \times 2$ 点	10点	3点	$(783 + 2\alpha - 2m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。